

令和4年度 地震・津波 総合防災訓練 (内閣府・静岡県掛川市)

実施報告書 (概要版)

静岡県掛川市について

静岡県掛川市は、静岡県の西部に位置し、政令指定市の静岡市と浜松市の間に位置している。東側は島田市、菊川市、御前崎市に、西側は袋井市、森町に接する。市北部は、標高832mの八高山をはじめとする山地であり、その南側に平地が開ける。市中央部には標高264mの小笠山があり、その山麓は複雑な谷筋を持った丘陵地である。市南部には、平地が広がり、遠州灘に面して約10kmにわたる砂浜海岸がある。

掛川市では、南海トラフ地震が発生した場合、最大震度7の揺れと、最大高さ13mの津波による被害が想定され、浸水域は、概ね国道150号より南と菊川流域が想定されている。また、最大津波の最短到達時間は20分となっている。

訓練の対象となる地区は、「掛川市防災ガイドブック」における津波浸水想定区域内の地区であり、地震発生から津波到達までに短時間で避難する必要がある。



出典：国土地理院

訓練概要

- 訓練想定：令和5年3月12日（土）午前9時00分頃、遠州灘を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、掛川市では震度6強から7を観測、午前9時02分に大津波警報が発表され、9時25分に、掛川市千浜地区では最大高さ13mの津波が到達したという想定のもと、訓練を実施。
- 実施日時：【訓練実施前WS】令和5年2月18日（土） 11時00分～12時30分
【訓練】 令和5年3月12日（日） 9時～12時
【訓練実施後WS】令和5年3月12日（日） 13時～15時
- 主催：掛川市、内閣府
- 参加者数：約1,500名
訓練実施前WS：33名、訓練実施後WS：31名
- 参加機関：静岡県警察本部・掛川警察署、陸上自衛隊、掛川市消防本部・消防団、静岡県危機管理部危機対策課ほか
- 訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難所開設訓練、専門家講話ほか
- 訓練の特色：津波避難訓練に続いて、避難所開設訓練や専門家による講話を行い、津波による被災後の避難生活のイメージを高められるよう工夫した。また関係機関の協力を得て、炊き出し等を実施した。

訓練の成果

- 訓練は、2部制で行われた。第1部では、シェイクアウト訓練、津波避難訓練、県警ヘリコプターによる人命救助訓練、ドローンによる情報収集訓練が行われた。第2部では、避難所の設備、備蓄品などの説明・見学、災害アプリの体験、自衛隊による炊き出し（試食）、物資配給訓練、各種車両展示、各種資機材等の展示、
- 専門家による講話が行われた。イベント的な各種訓練を体験、見学することで、防災意識向上へつながっているものと期待される。
- 第2部における各種車両や資機材の展示においては、参加者が実際に実物に触れることにより防災意識を高めることができた。
- 会場における避難訓練への地域住民の参加および関心について、これまで以上に強いものとなっており、防災に対する気運の醸成が見られた。小学生をはじめ、親子参加など幅広い年齢層に対して防災意識の啓発が行われた。
- 関係機関による各種訓練においては、各機関が自らの装備や初動行動、役割を地区住民にしていねいに説明し、理解が得られていた。

【課題】

- 高齢者など避難行動要支援者を支援しながらの津波避難訓練が必要である。
- 夜間や悪天候時の避難についても訓練しておく必要がある。
- 第2部では、会場における展示をメインとしたため、今後は、実際の被災時を想定した対策本部の立ち上げや状況付与による訓練を実施することが望ましい。
- 各指定避難所における開設・運営訓練は今回は実施できておらず、今後、住民を主体とした共助力を養成するための訓練が必要である。

令和5年2月18日（土） 11:00～12:30 訓練実施前ワークショップ

・「災害にも強い地域づくりに向けて」をテーマに、前半は澤田准教授による津波に関する講話、後半は参加者による訓練前研修として、津波避難経路の確認や、避難上の課題等について話し合いを行った。

▼津波避難に関する講話
（兵庫県立大学・澤田雅浩准教授）



▼地図を用いた話し合い



令和5年3月12日（日） 9:00～12:00 津波避難訓練・各種体験訓練等

・地区住民は、シェイクアウト訓練の後、自宅最寄りの津波避難施設まで津波避難訓練を行った。（第1部訓練）

▼津波避難訓練



・メイン会場では、専門家による講話のほか、避難所備品や資機材の展示、防災アプリ等の解説、関係機関による車両展示、炊き出しを行った。（第2部訓練）



▼専門家による講話



▼避難所備品の展示・見学



▼炊き出し



令和5年3月12日（日） 13:00～15:00 訓練実施後ワークショップ

・直前に行った避難訓練を検証し、「訓練で学んだこと」、「訓練で考えたこと（課題）」、「今後の訓練に向けてのアイデア」を地区ごとに発表。各地区ともに、今後のさらなる防災訓練の充実に意欲を見せた。

▼訓練のふりかえり



▼今後の訓練アイデアの発表

